

東日本大震災時の地震・津波避難に関する WEBアンケート調査結果（速報）

**調査対象：大津波警報が発表された地域
（岩手県、宮城県、福島県を除く10都道県）の居住者**

1. WEBアンケート調査の概要・まとめ

p.2-

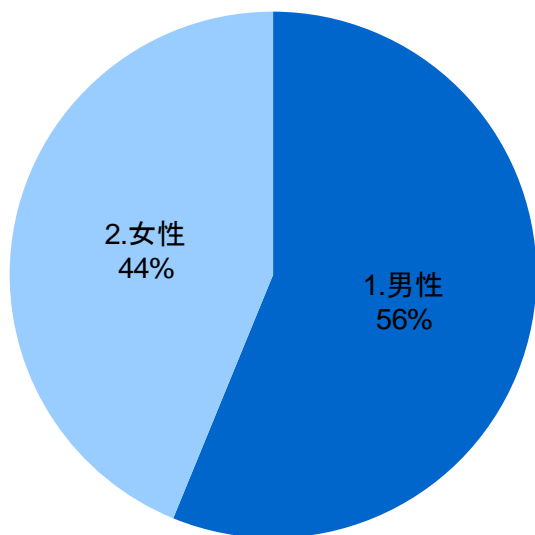
2. 集計結果(抜粋)

p.10-

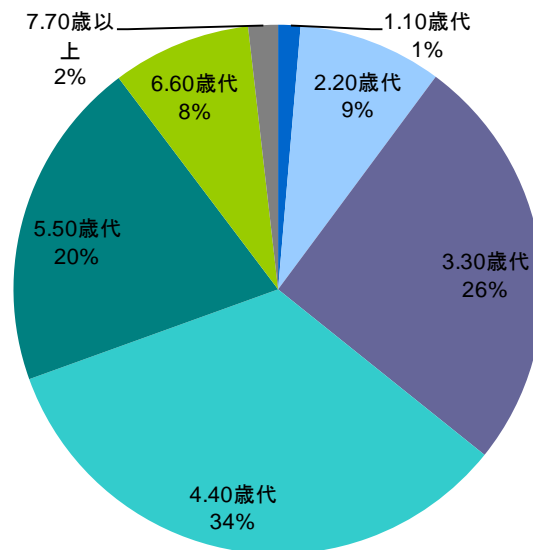
WEBアンケート調査の概要

- WEBアンケート調査の概要は以下のとおりである。
 - 調査方法: WEBアンケート
 - 配信期間: 2012年07月24日(火)～2012年08月06日(月)
- 本調査では、大津波警報が発表された地域(岩手県、宮城県、福島県を除く10都道県)の居住者50,474人から回答を得た。そのうち、大津波警報が発表された地域において浸水危険性を認識していた11,962人の回答を主たる分析対象とした。
- 分析・集計対象の11,962人の属性は下図のとおりである。

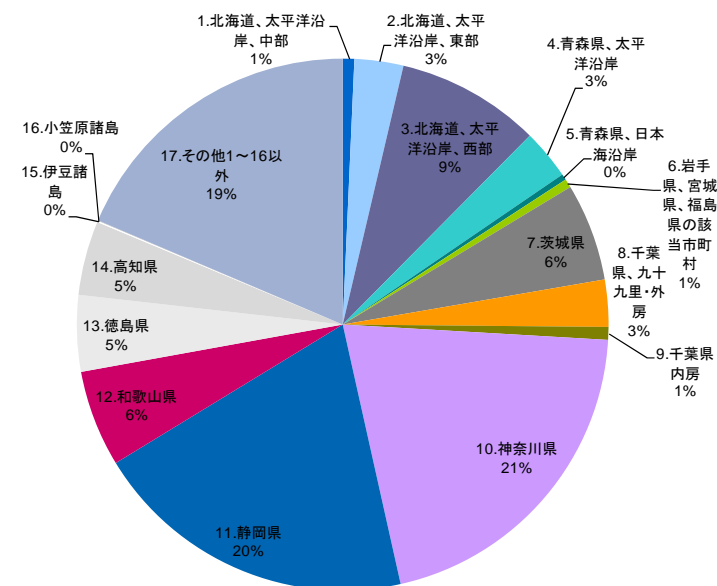
性別



東日本大震災発生当時の年齢



東日本大震災が発生した時にいた場所



WEBアンケート調査の概要

- 本調査のとりまとめにあたっては、各設問から得られた結果を「I. 地震発生直後の意識・行動」「II. 避難のきっかけ」「III. 避難行動」「IV. 東日本大震災前後の意識」の4つに区分し、結果をとりまとめた。

地震発生～避難行動、東日本大震災前後の意識					
	I. 地震発生直後の意識・行動 ✓津波到達 ✓危険行動	II. 避難のきっかけ ✓自発的避難 ✓大津波警報 ✓呼びかけ ✓過去の経験	III. 避難行動 ✓避難場所 ✓危険行動 ✓移動手段 ✓同行者	IV. 東日本大震災前後の意識 ✓事前の備え ✓行政への期待 ✓津波の恐ろしさ ✓避難意識	
① 避難意識	○	○		○	p.4
② 情報伝達		○			p.5
③ 避難場所			○		p.6
④ 事前準備			○	○	p.7
⑤ 防災教育	○	○	○	○	p.8

【① 避難意識】

WEBアンケートの結果

① 避難意識

I.地震発生直後の意識・行動

(津波到達)

- 地震発生直後に「津波が必ず来る」「津波が来るかもしれない」と思った人は、浸水想定区域もしくは実浸水区域で**5割弱**、それ以外の区域で**2割強**であった。
- 地震直後に「津波が必ず来る」と思った人は、その他の人に比べて「過去にこの場所まで大きな津波が来たことがあるという話」、「津波避難訓練でやったこと」を頭に浮かべていた比率がそれぞれ高い。

(危険行動)

- 地震直後の行動として、地震に関する情報を得ようとした人は**約6割**、津波に関する情報を得ようとした人は**約2～3割**であった。一方、海や川の様子を見に行ったり、船の様子を見に行ったり、船を沖出し・陸揚げしようとした人、海沿い・川沿いに置いてあった車を安全な場所に移そうとした人もいた。

II.避難のきっかけ

(自発的避難)

- 地震当日中に避難したのは、浸水想定区域もしくは実浸水区域で**約2割**、それ以外の区域で**1割弱**であった。
- 避難のきっかけとして、「揺れ具合から津波が来ると思った」ことよりも「津波警報を見聞きした」「大津波警報を見聞きした」ことを挙げた人の方が多かった。

(大津波警報)

- 大津波警報を見聞きして「大きな津波が来るかもしれない」と感じた人は、**約4割**であった。
- 一方、大津波警報を見聞きして「本当に大きな津波が来るか半信半疑だ」「必ずしも大きな津波が来るとは限らない」「予想される津波の高さであれば、堤防は越えないだろう」と感じた人もいた。

IV.東日本大震災前後の意識

(避難意識)

- 東日本大震災を受け、**約4割以上**の人はハザードマップの想定を超えて津波が来ることがある、避難の方法などを普段からよく考えておく必要がある、家族と一緒に避難できないことも想定しておくべき、大災害の時は自分の身は自分で守るしかないと感じている。一方、市町村などの避難の指示や勧告に従った方がよいと感じた人は**約2割**であった。

【② 情報伝達】

WEBアンケートの結果

② 情報伝達

II. 避難のきっかけ

(大津波警報)

- 避難した人のうち、津波警報・大津波警報の見聞きがきっかけで避難した人は約3～4割であった。
- 今後、揺れの大きさや揺れ方で判断してすぐに避難すると考えている人は約5割であった。また、市区町村の避難勧告や避難指示などが出たら避難する、大津波警報が発表されたら避難するなど行政の発信する情報を重視して判断しようと考えている人が約2～3割であった。
- 自分のいた地域の大津波警報を見聞きした人は、約5～7割であった。
- 大津波警報を見聞きした手段としては、テレビが約6割であった。
- 大津波警報を見聞きした手段がテレビの人の比率は、揺れている間に停電した場所では約1割、全く停電しなかった場所では約8割であった。
- 当日に避難した人の比率は、大津波警報が午後2時49分に発表された地域では約9割、午後10時53分に発表された地域では約1割であった。

(呼びかけ)

- 想定浸水区域もしくは実浸水区域で避難の呼びかけを見聞きしなかった人は約4割、それ以外の地域では約6割であった。
- 避難の呼びかけを見聞きしても、本当に津波が来るとは思わなかった人がいる。
その傾向は年齢が上がるほど顕著であり、70歳以上の約4割は呼びかけを聞いても津波は来ないだろうなどと思っていた。
- 避難の呼びかけを市区町村の防災行政無線または市町村等の広報車から見聞きした人で実際に避難した人は約3～4割、他人からの直接の口伝えを見聞きした人で実際に避難した人は約4～5割であった。

【③ 避難場所】

WEBアンケートの結果

③ 避難場所

Ⅲ.避難行動

(避難場所)

- 最初に高台に避難した人は約4割、指定避難場所に避難した人は約2割、自宅の2階以上に避難した人は約4%であった。
- 地震の揺れが収まってから約30分間以内に避難が完了した人は、避難した人の約4割であった。
- 避難しようと考えている場所について、約4割の人はその場所の安全性に不安を感じている。

【④ 事前準備】

WEBアンケートの結果

④ 事前準備

Ⅲ.避難行動

(移動手段)

- 東日本大震災における避難時の移動手段として車を利用した人は、約6割であった。

(同行者)

- 避難しようと思ったができなかった人のうち、同居家族の中に70歳以上の方や自力避難困難者がいた人は約7~8%であり、そうでない人は約5%であった。

Ⅳ.東日本大震災前後の意識

(行政への期待)

- 行政に対しては、堤防や高台造成等のハード面での対策以上に、**情報の的確な伝達や避難経路整備、訓練等のソフト面での対策の充実**が求められている。

【⑤ 防災教育】

WEBアンケートの結果

⑤ 防災教育

I.地震発生直後の意識・行動

(津波到達)

- 年代が若いほど、地震直後にどうしたらよいかとわからないと答える人の比率が高かった。

II.避難のきっかけ

(過去の経験等)

- 平成22年チリ地震の際に避難した人は、そうでない人に比べて東日本大震災当日の避難率が高く、その割合はおよそ75%であった。
- 震源域(東北地方)から離れた場所にいたため避難しなかった人は約3割であった。

IV.東日本大震災前後の意識

(事前の備え、避難意識)

- 東日本大震災以前は、半数以上の人は、津波への備えを何もしていなかったが、東日本大震災を受けて、**津波の恐ろしさ**や**津波への備えに対する意識が高まっている**。

(津波の恐ろしさ、避難意識)

- 地震当日に、津波の恐ろしさ(到達までの時間の短さ、被害範囲の広さ、津波の高さ、複数回の到達)を感じた人が多い。
- 今後、揺れの大きさや揺れ方で判断してすぐに避難すると考えている人は約5割であった。(再掲)

1. WEBアンケート調査の概要・まとめ

p.2-

2. 集計結果(抜粋)

p.10-

集計対象

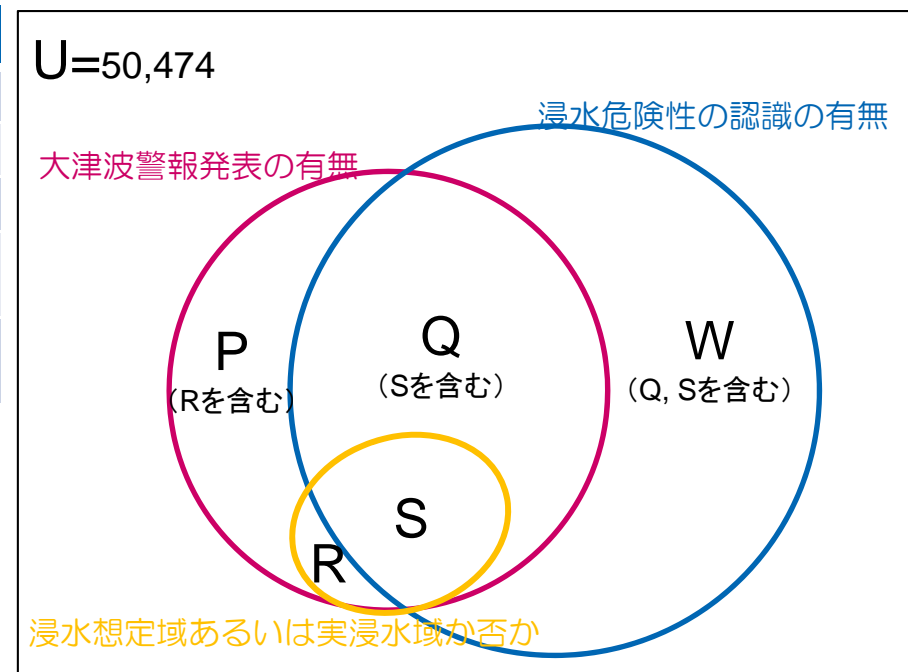
- 条件A (右図赤丸に該当=P+Q) : 16,454
 - 【問1住まい: 大津波警報発表の10都道県170市町村内】、【問3通勤・通学先: 大津波警報発表の10都道県170市町村内+岩手・宮城・福島の沿岸37市町村内】、【問5地震発生時刻の所在: 大津波警報発表の10都道県170市町村内+岩手・宮城・福島の沿岸37市町村内】の“いずれかの条件(OR条件)”が当てはまること。
- 条件B (右図青丸に該当=W) : 25,811
 - 【自宅地域に津波浸水の危険性があると認識している(=問2で①②を選択)】、【通勤・通学地域に津波浸水の危険性があると認識している(=問4で①②を選択)】、【地震発生時刻に滞在していた地域に津波浸水の危険性があると認識している(=問6で①②を選択)】の“いずれかの条件(OR条件)”が当てはまること。

表 集計対象となる属性別回収数

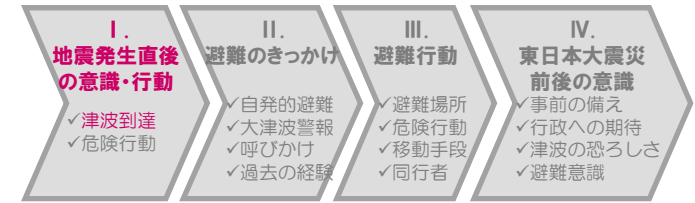
セグメント	回収数	内容
U	50,474	総回収数
P	4,492	条件Aを満たしているが条件Bを満たしていない数
Q	11,962	条件A・条件Bいずれも満たしている数
R	439	条件Aを満たしており、条件Bを満たしていない、かつ 震災発生時に浸水想定域もしくは実浸水域にいた数
S	2,725	条件A・Bを満たしており、かつ 震災発生時に浸水想定域もしくは実浸水域にいた数

集計対象項目	集計対象数	
問1～問6	U	50,474
問7～問23 (※)	Q	11,962
	S	2,725
問24～問38 (※)	P+Q	16,454
	R+S	3,164

図 各回収属性の関係



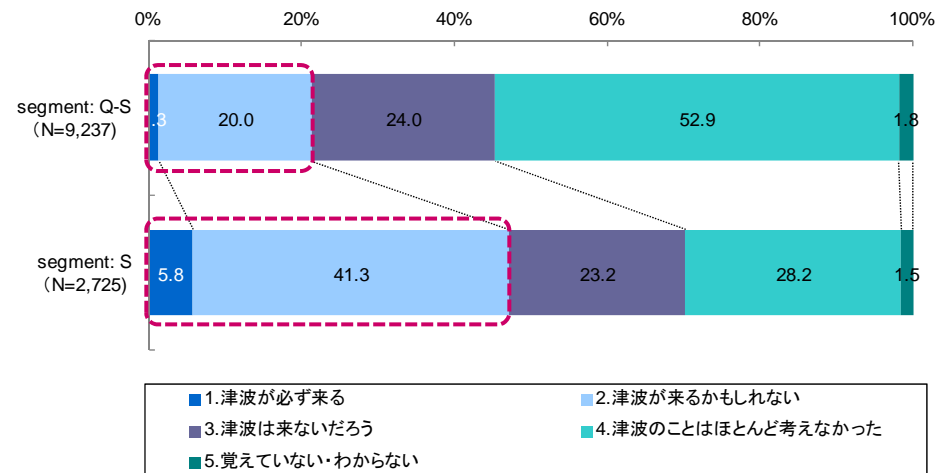
※各設問のSQ(問14を含む)はN数が異なる。
また問16、問17、問18は「地震発生時にいた場所」でスクリーニングしているため、N数が異なる

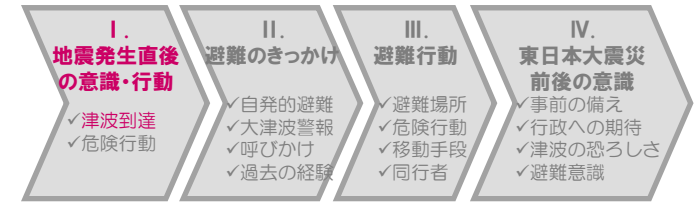


【① 避難意識】

■ 地震発生直後に「津波が必ず来る」「津波が来るかもしれない」と思った人は、浸水想定区域もしくは実浸水区域で5割弱、それ以外の区域で2割強であった。

【問13】地震の直後に、あなたのいた場所に津波が来ると思いませんか。

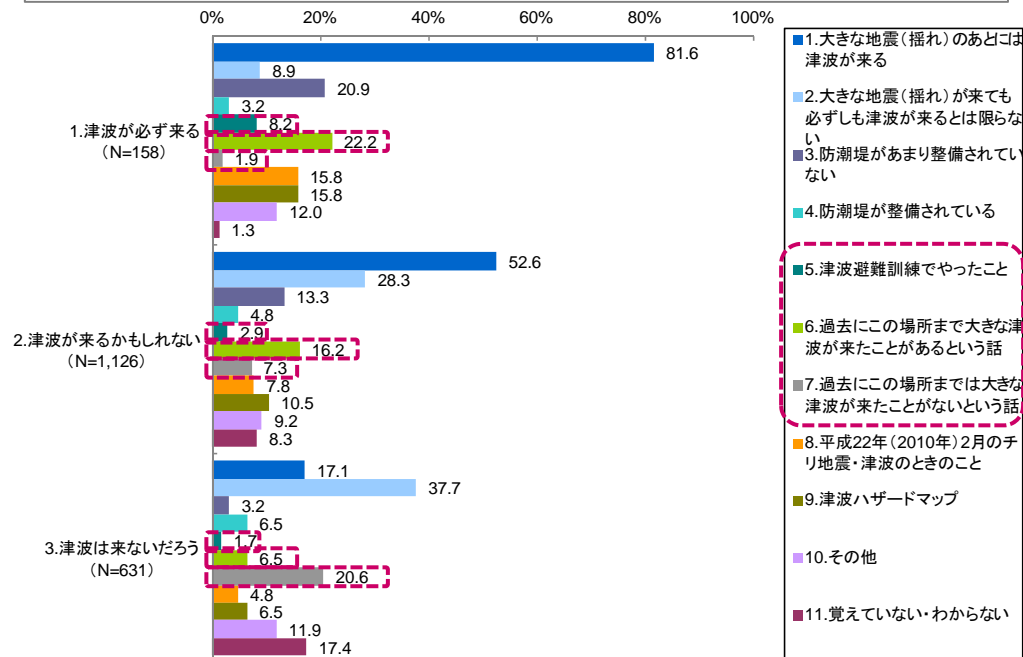


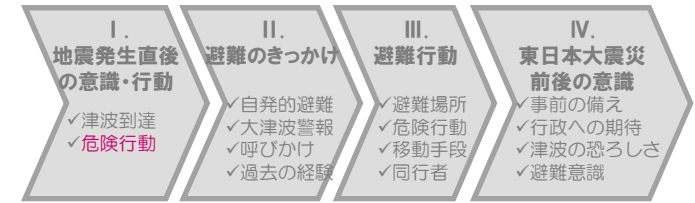


【① 避難意識】

- 地震直後に「津波が必ず来る」と思った人は、その他の人に比べて「過去にこの場所まで大きな津波が来たことがあるという話」、「津波避難訓練でやったこと」を頭に浮かべていた比率がそれぞれ高い。
- 一方、地震直後に「津波は来ないだろう」と思った人は、その他の人に比べて「過去にこの場所までは大きな津波が来たことがないという話」を頭に浮かべていた比率が高い。

【問13】 地震の直後に、あなたのいた場所に津波が来ると思いましたか。 ×
 【問13-1】そのとき、どのようなことが頭に浮かびましたか。〔複数選択可〕

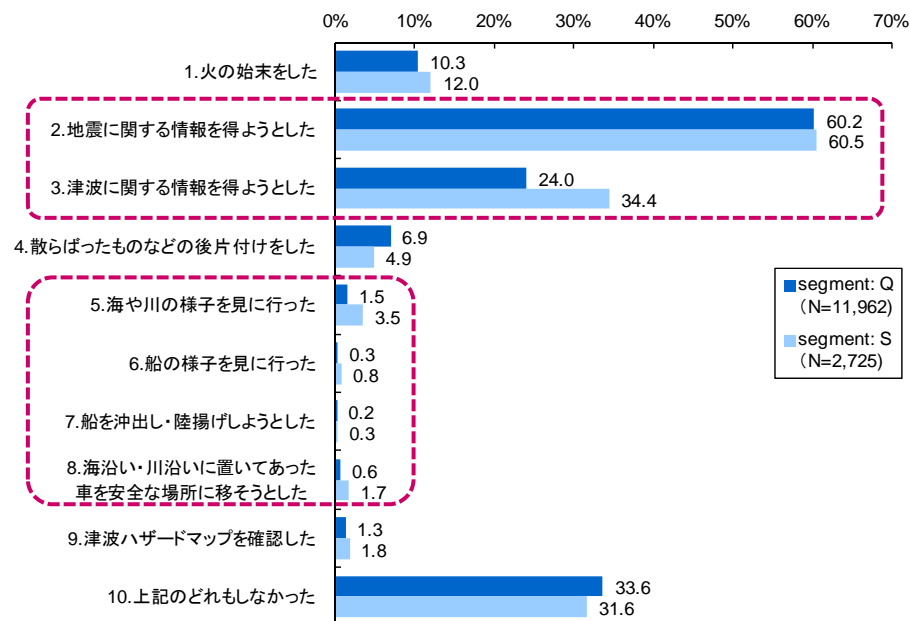


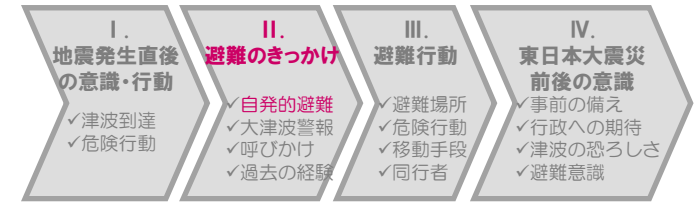


【① 避難意識】

- 地震直後の行動として、地震に関する情報を得ようとした人は約6割、津波に関する情報を得ようとした人は約2~3割であった。
- 一方、海や川の様子を見に行った人、船の様子を見に行った人、船を冲出し・陸揚げしようとした人、海沿い・川沿いに置いてあった車を安全な場所に移そうとした人もいた。

【問15】あなたは地震の直後に、次のようなことをしましたか。〔複数選択可〕

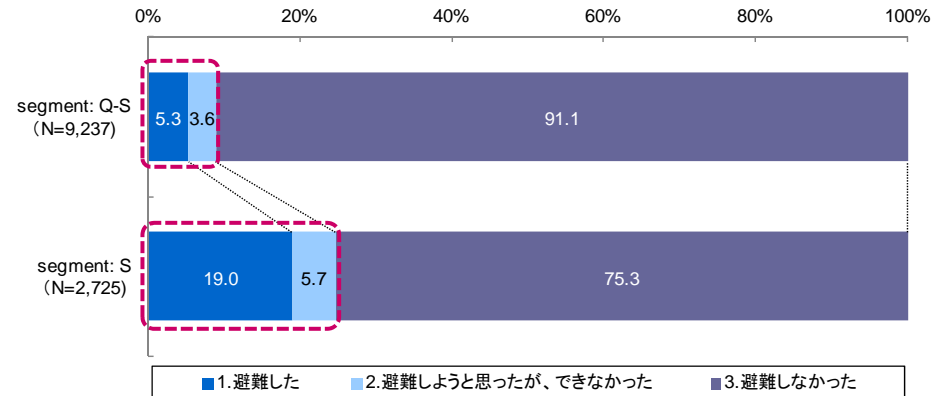




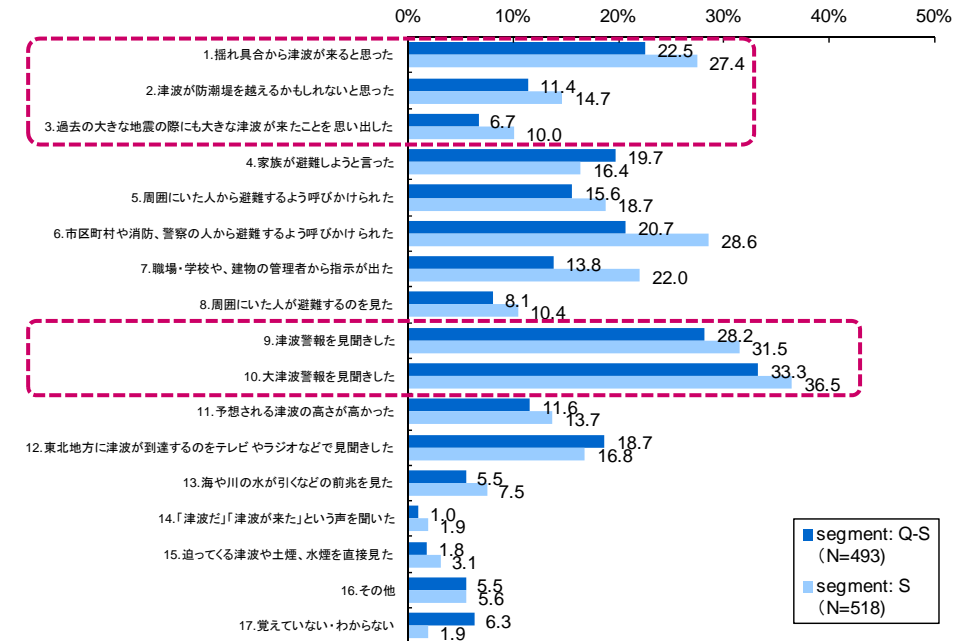
【① 避難意識】

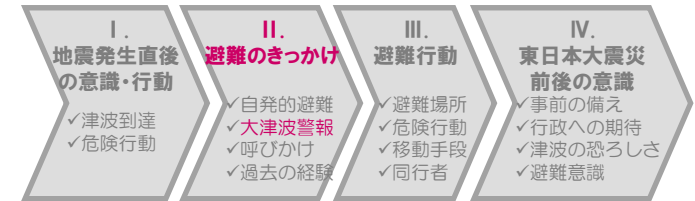
- 地震当日中に避難したのは、浸水想定区域もしくは実浸水区域で約2割、それ以外の区域で1割弱であった。
- 避難のきっかけとして、「揺れ具合から津波が来ると思った」ことよりも「津波警報を見聞きした」「大津波警報を見聞きした」ことを挙げた人の方が多かった。

【問22】地震当日中に津波から避難しましたか。



【問22-1】あなたが津波から避難したきっかけは何ですか。〔複数選択可〕

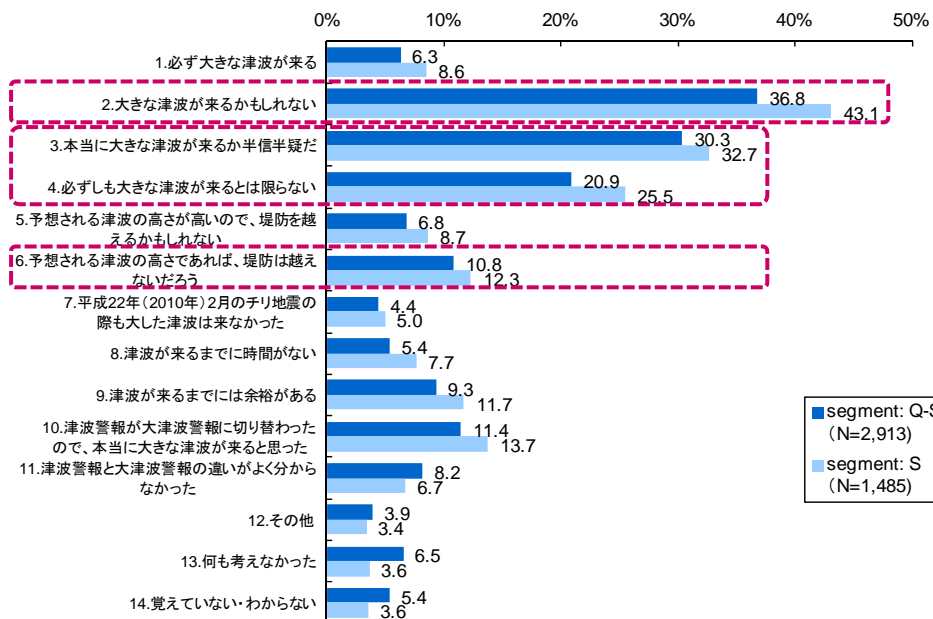


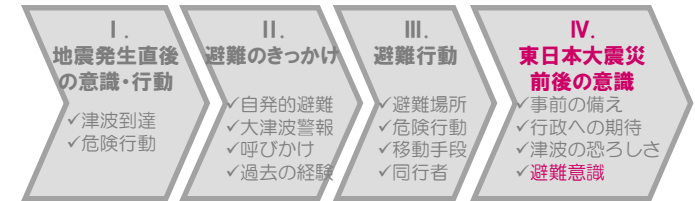


【① 避難意識】

- 大津波警報を見聞きして「大きな津波が来るかもしれない」と感じた人は、約4割であった。
- 一方、大津波警報を見聞きして「本当に大きな津波が来るか半信半疑だ」「必ずしも大きな津波が来るとは限らない」「予想される津波の高さであれば、堤防は越えないだろう」と感じた人もいた。

【問18-5】あなたは、大津波警報を見聞きして、次のようなことを感じましたか。〔複数選択可〕

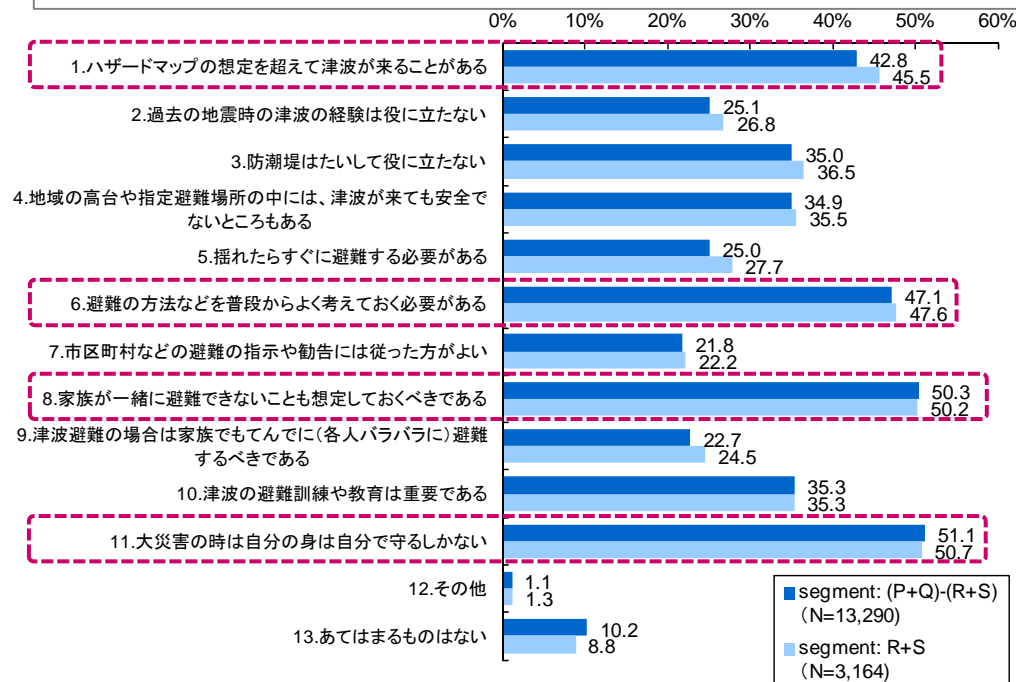


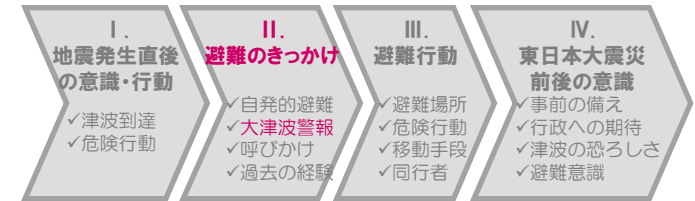


【① 避難意識】

- 東日本大震災を受け、約4割以上の方はハザードマップの想定を超えて津波が来ることがある、避難の方法などを普段からよく考えておく必要がある、家族と一緒に避難できないことも想定しておくべき、大災害の時は自分の身は自分で守るしかないと感じている。
- 一方、市町村などの避難の指示や勧告に従った方がよいと感じた人は約2割であった。

【問26】東日本大震災を受けて、あなたは次のようなことを感じていますか。〔複数選択可〕

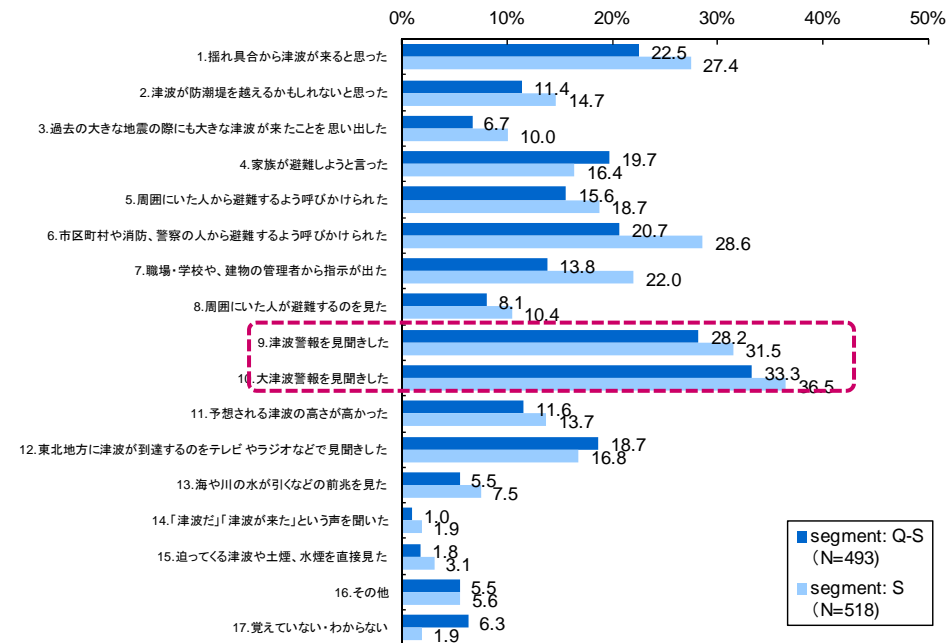




【② 情報伝達】

■ 避難した人のうち、津波警報・大津波警報の見聞きがきっかけで避難した人は約3~4割であった。

【問22-1】あなたが津波から避難したきっかけは何ですか。〔複数選択可〕

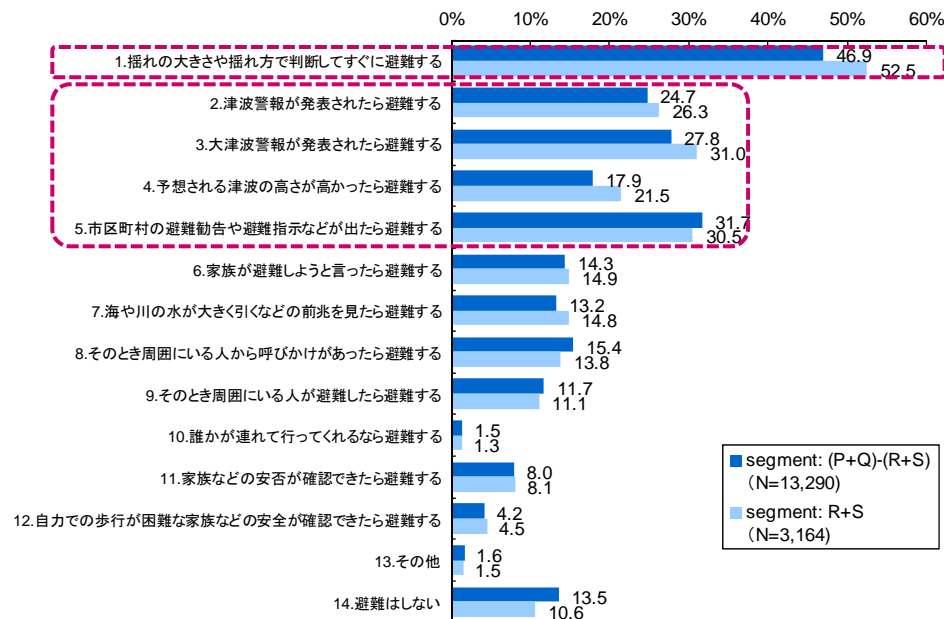


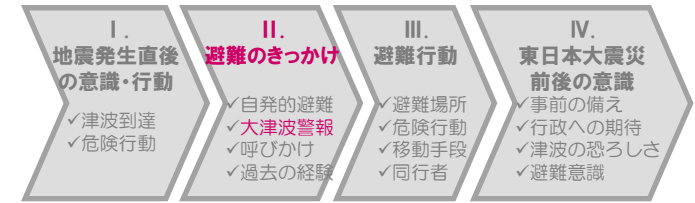


【② 情報伝達】

- 今後、揺れの大きさや揺れ方で判断してすぐに避難すると考えている人は約5割であった。
- また、市区町村の避難勧告や避難指示などが出たら避難する、大津波警報が発表されたら避難するなど行政の発信する情報を重視して判断しようと考えている人が約2~3割であった。

【問28】 今後、「ご自宅のある地域」で大きな地震が起きた場合、どのような状況であればあなたは津波から避難すると思いますか。〔複数選択可〕



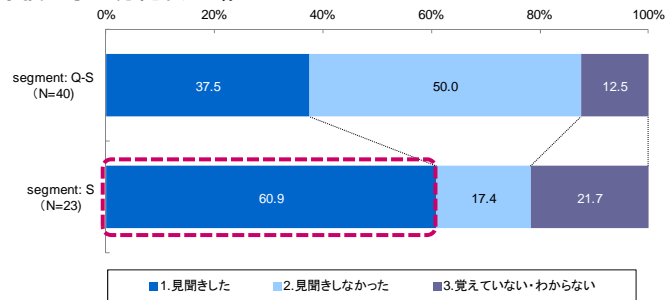


【② 情報伝達】

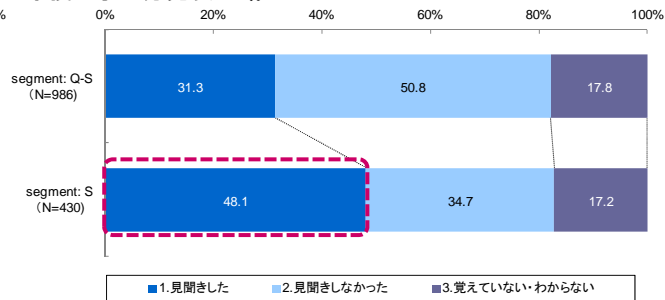
■ 自分のいた地域の大津波警報を見聞きした人は、約5~7割であった。

【問18】あなたがいた場所では大津波警報が発表されました(津波警報からの切替含む)。
 津波が押し寄せてくるまでの間に、あなたがいた場所についての大津波警報を見聞きしましたか。

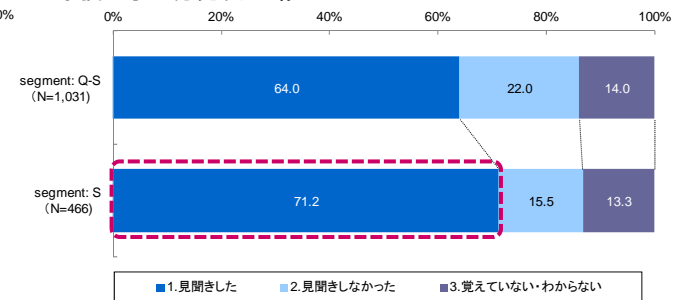
午後2時49分発表地域



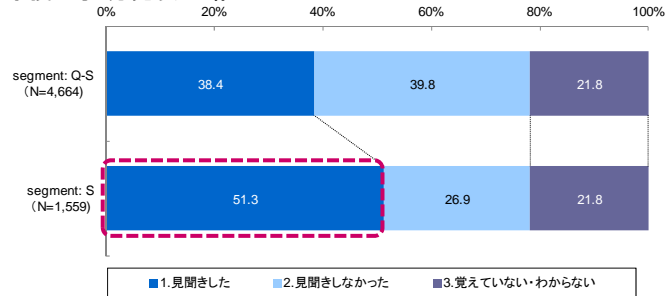
午後3時14分発表地域



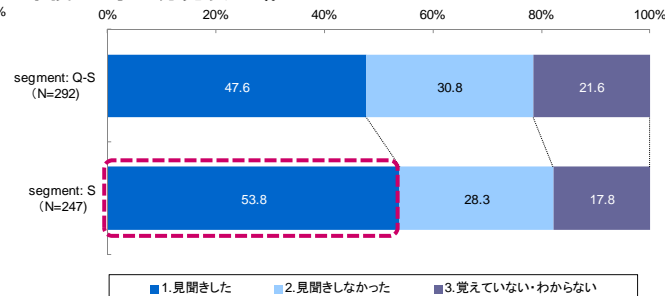
午後3時30分発表地域

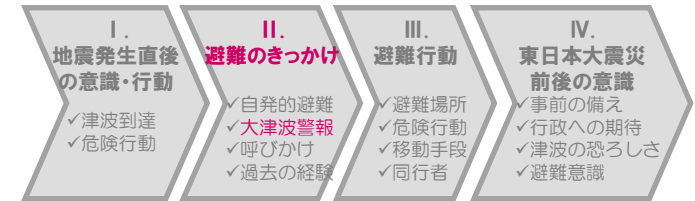


午後4時8分発表地域



午後10時53分発表地域

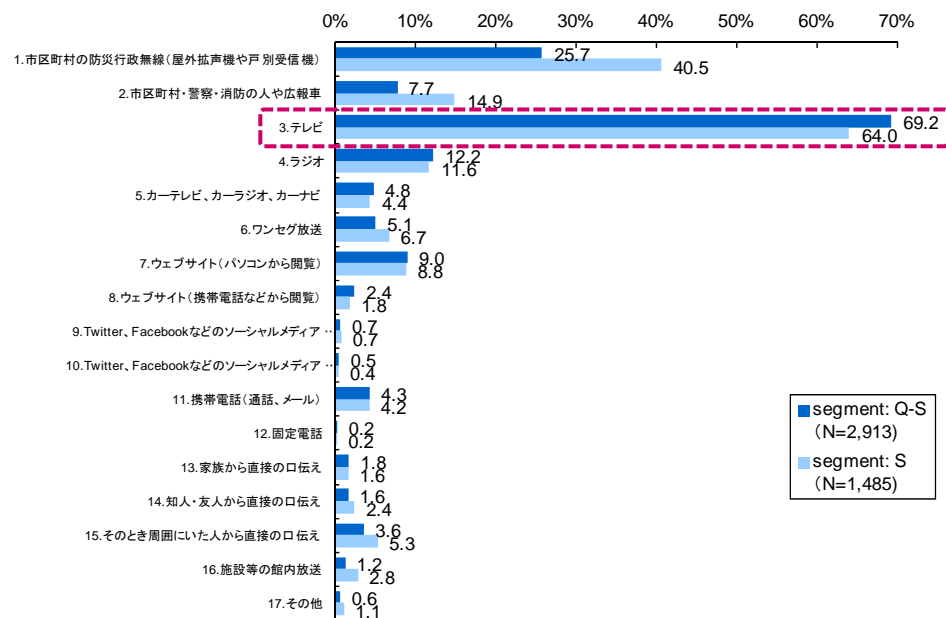




【② 情報伝達】

■ 大津波警報を見聞きした手段としては、テレビが約6割であった。

【問18-3】あなたは、大津波警報をどこから見聞きしましたか。〔複数選択可〕

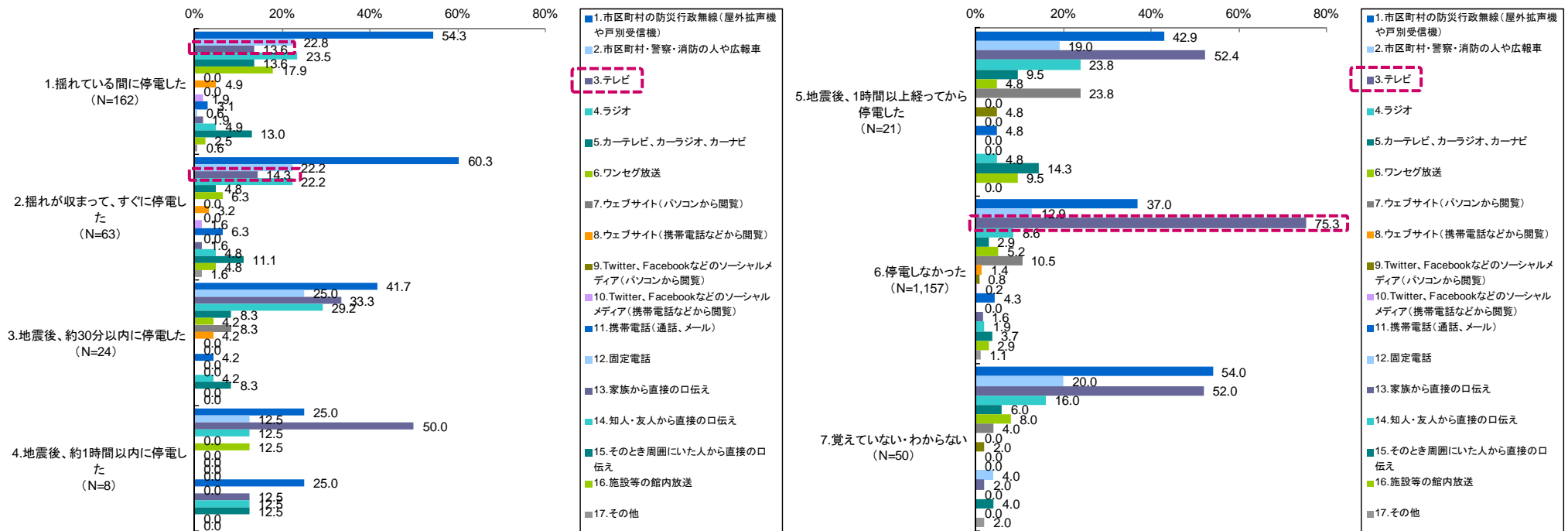


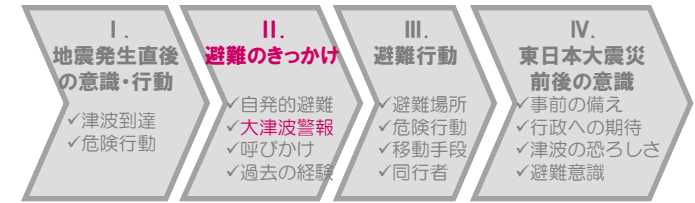


【② 情報伝達】

■ 大津波警報を見聞きした手段がテレビの人の比率は、揺れている間に停電した場所では約1割、全く 停電しなかった場所では約8割であった。

【問12】地震が発生した日、あなたがいた場所では停電しましたか。 × 【問18-3】あなたは、大津波警報をどこから見聞きしましたか。〔複数選択可〕



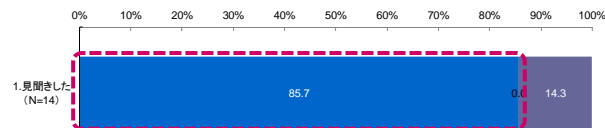


【② 情報伝達】

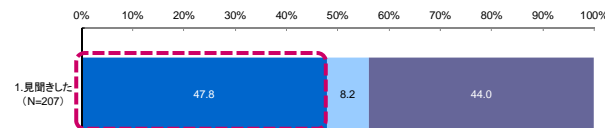
- 当日に避難した人の比率は、大津波警報が午後2時49分に発表された地域では約9割、午後10時53分に発表された地域では約1割であった。

【問22】あなたは地震当日中に津波から避難しましたか。（【問18】あなたのいた場所について大津波警報を見聞きましたか。で「見聞きましたと回答した人対象」）

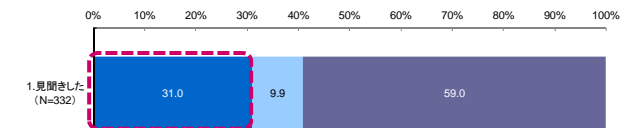
午後2時49分発表地域



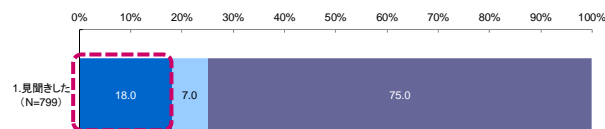
午後3時14分発表地域



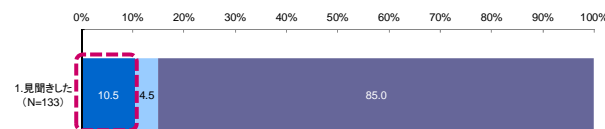
午後3時30分発表地域



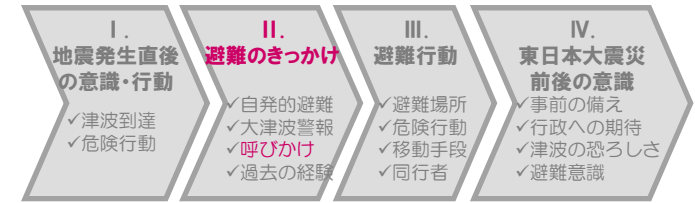
午後4時8分発表地域



午後10時53分発表地域



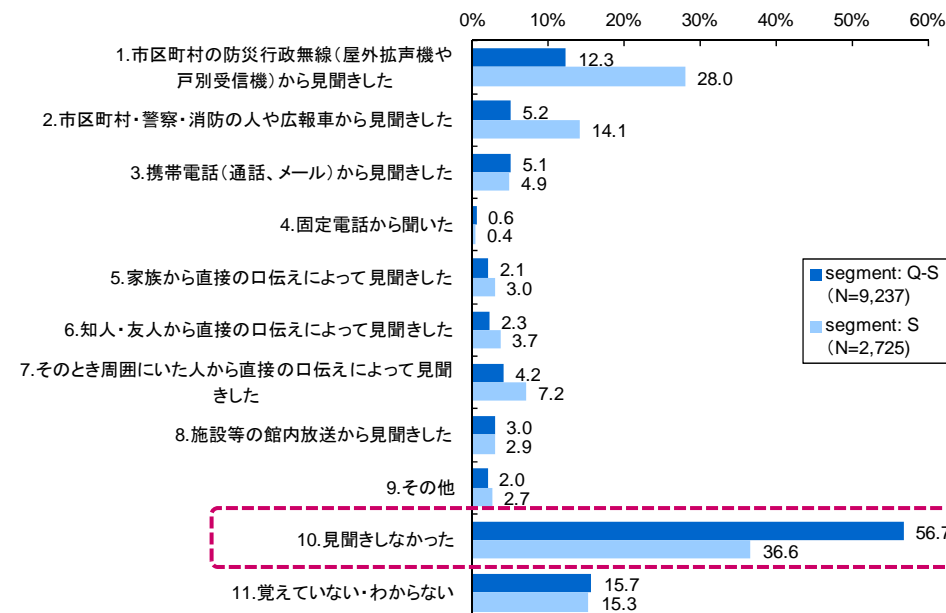
■ 1. 避難した ■ 2. 避難しようと思ったが、できなかった ■ 3. 避難しなかった

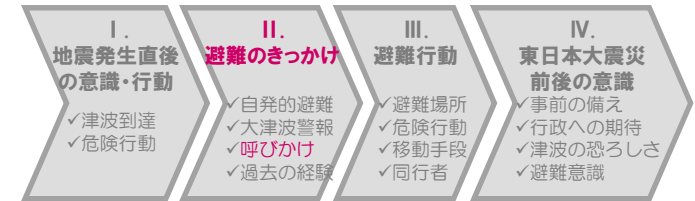


【② 情報伝達】

- 想定浸水区域もしくは実浸水区域で避難の呼びかけを見聞きしなかった人は約4割、それ以外の地域では約6割であった。

【問19】 地震が起きてから津波が押し寄せてくるまでの間に、あなたは「市区町村」もしくは「そのとき周囲にいた人」などからの避難の呼びかけを見聞きしましたか。〔複数選択可〕

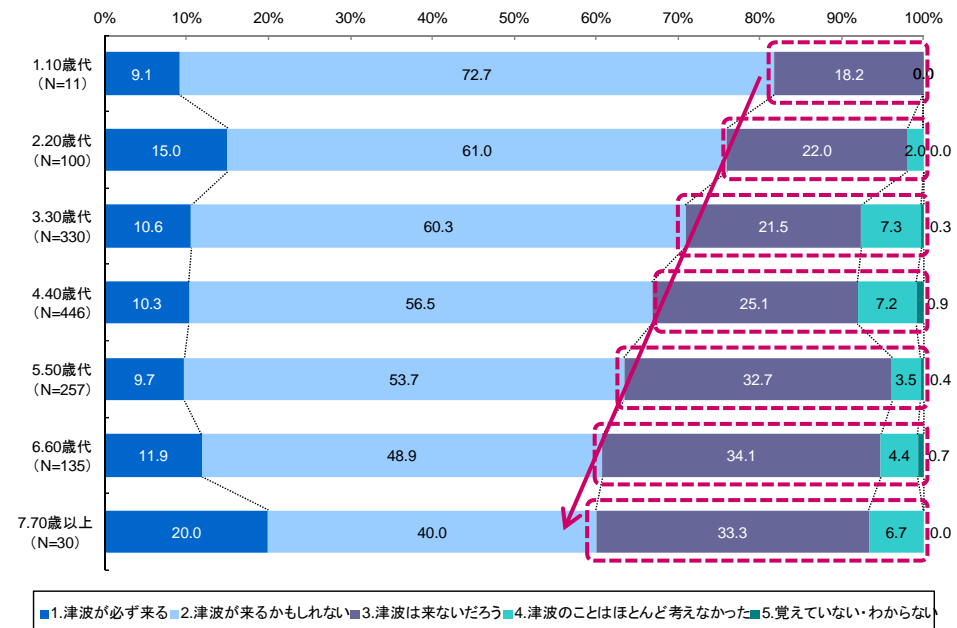


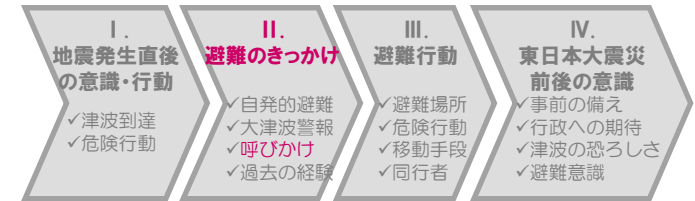


【② 情報伝達】

- 避難の呼びかけを見聞きしても、本当に津波が来るとは思わなかった人がいる。その傾向は年齢が上がるほど顕著であり、70歳以上の約4割は呼びかけを聞いても津波は来ないだろうなどと思っていた。

【問19-1】あなたは避難の呼びかけを見聞きして、あなたのいた場所に津波が来ると思いましたか。



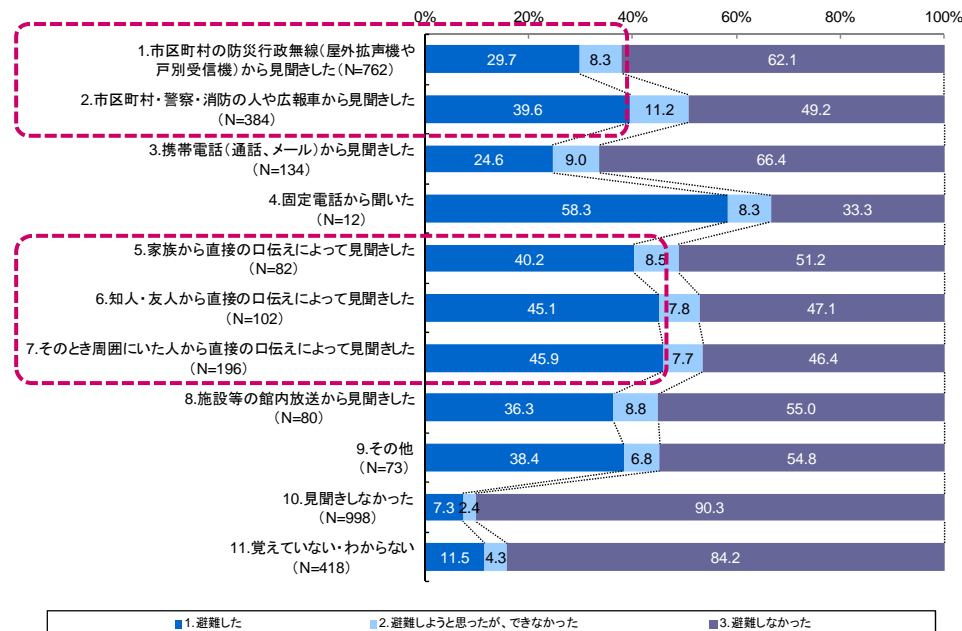


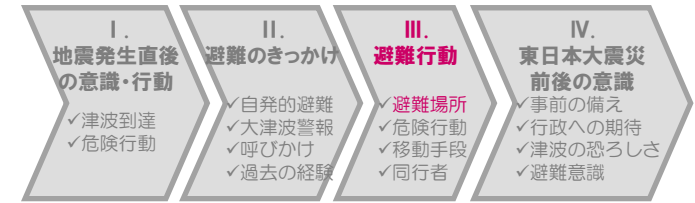
【② 情報伝達】

- 避難の呼びかけを市区町村の防災行政無線または市町村等の広報車から見聞きした人で実際に避難した人は約3~4割、他人からの直接の口伝えを見聞きした人で実際に避難した人は約4~5割であった。

【問19】地震が起きてから津波が押し寄せてくるまでの間に、あなたは「市区町村」もしくは「そのとき周囲にいた人」などからの避難の呼びかけを見聞きしましたか。〔複数選択可〕 ×

【問22】あなたは地震当日中に津波から避難しましたか。

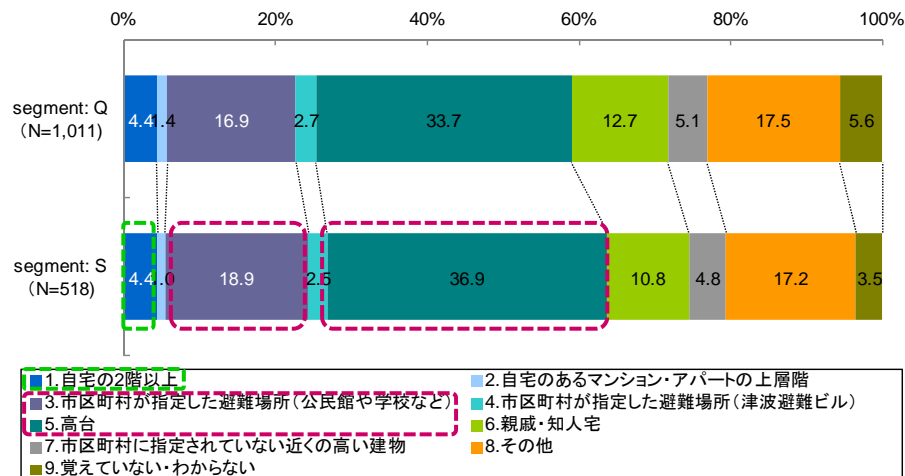


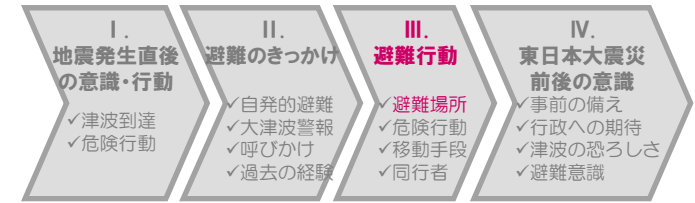


【③ 避難場所】

- 最初に高台に避難した人は約4割、指定避難場所に避難した人は約2割、自宅の2階以上に避難した人は約4%であった。

【問22-1-3】津波から逃れるために、あなたは最初にどこへ避難しましたか。

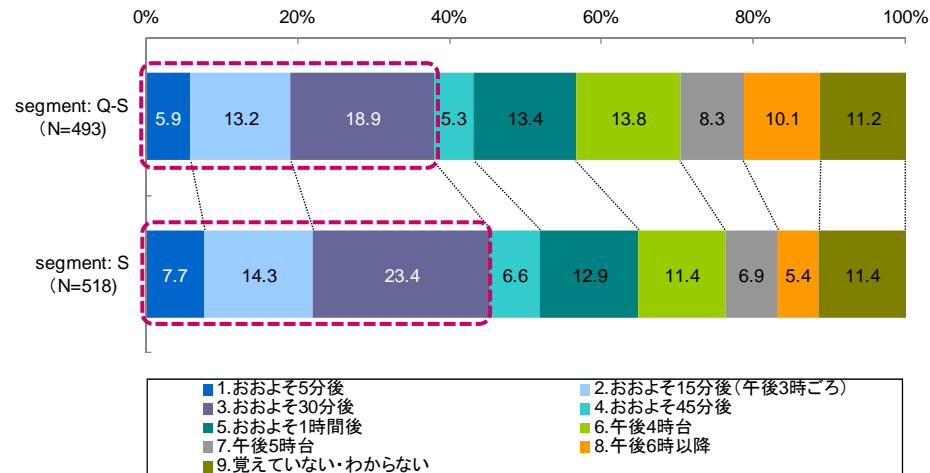


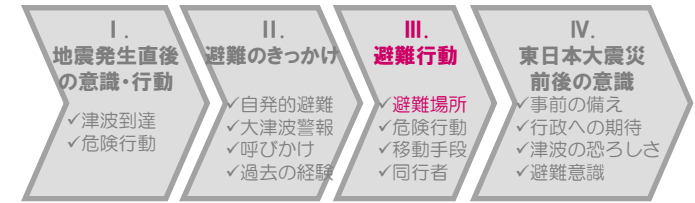


【③ 避難場所】

■ 地震の揺れが収まってから約30分間以内に避難が完了した人は、避難した人の約4割であった。

【問22-1-4】 あなたが最初に避難した場所については、地震の揺れが収まってからどれくらい後ですか。

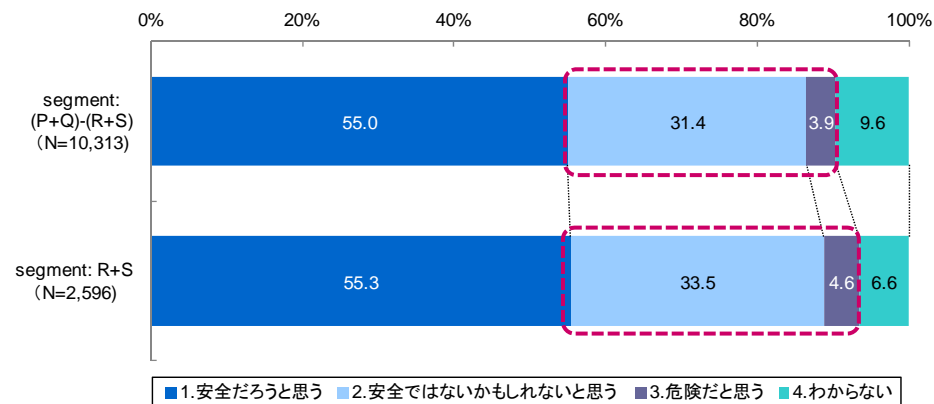


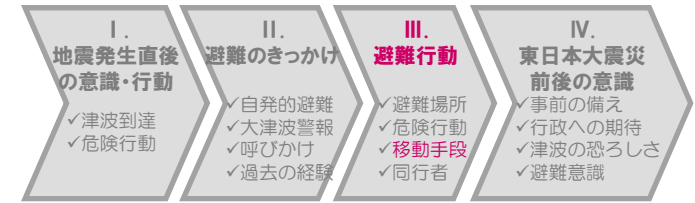


【③ 避難場所】

■ 避難しようと考えている場所について、約4割の人はその場所の安全性に不安を感じている。

【問29-3】あなたが避難しようと考えている場所は、大きな津波に襲われたときでも安全だと思いますか。

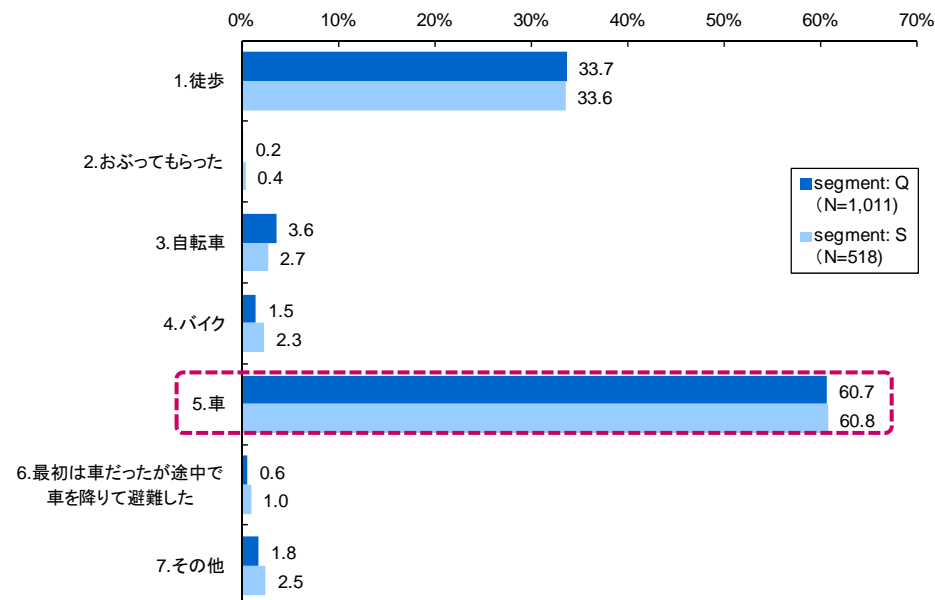


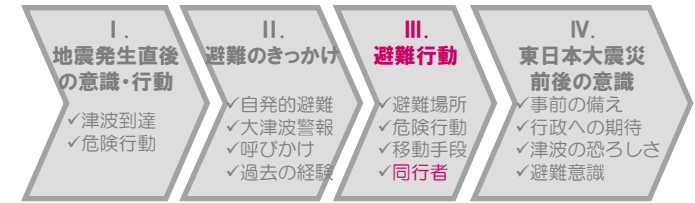


【④ 事前準備】

■ 東日本大震災における避難時の移動手段として車を利用した人は、約6割であった。

【問22-1-1】地震が発生したときにいた場所から最初に避難した場所まで、あなたはどのように避難しましたか。〔複数選択可〕





【④ 事前準備】

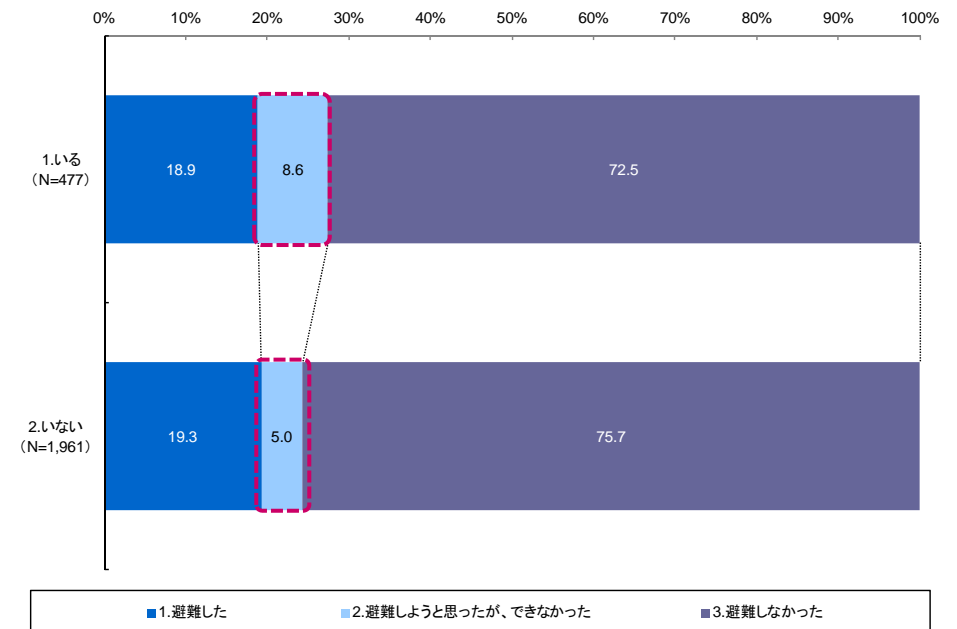
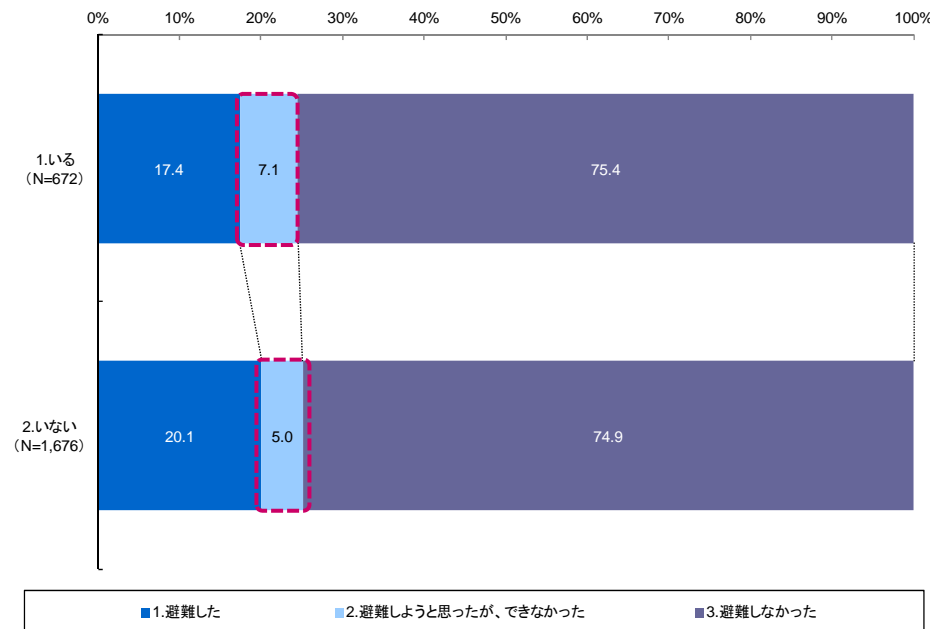
- 避難しようと思ったができなかった人のうち、同居家族の中に70歳以上の方や自力避難困難者がいた人は約7~8%であり、そうでない人は約5%であった。

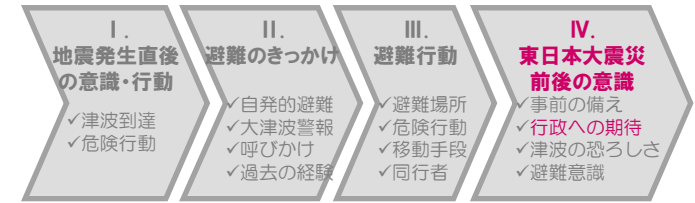
【問36】 東日本大震災が発生した当時、同居しているご家族の中に、70歳以上の方はいましたか。 ×

【問22】 あなたは地震当日中に津波から避難しましたか。

【問37】 東日本大震災が発生した当時、同居しているご家族の中に、一人で避難することが困難な方はいましたか。 ×

【問22】 あなたは地震当日中に津波から避難しましたか。

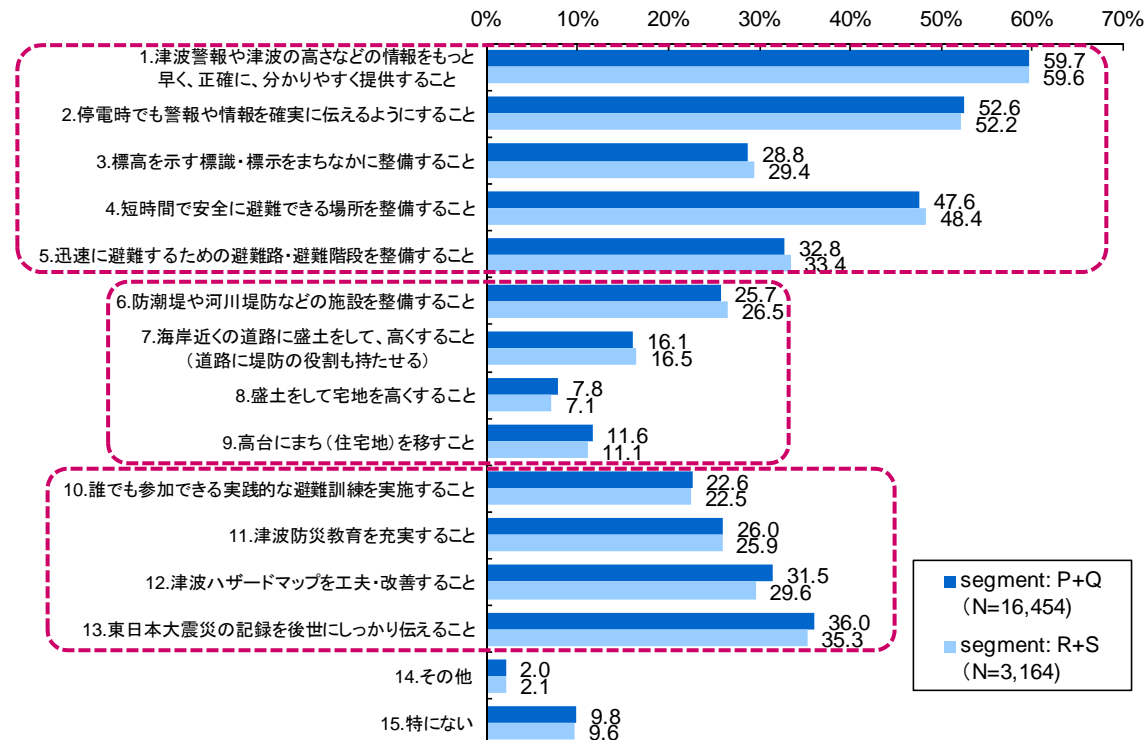


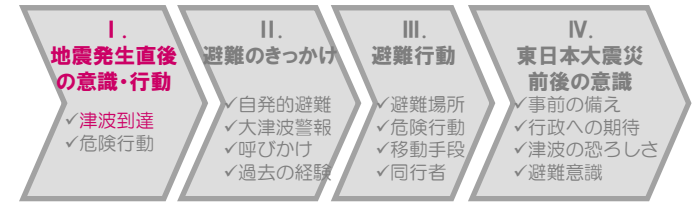


【④ 事前準備】

- 行政に対しては、堤防や高台造成等のハード面での対策以上に、情報の的確な伝達や避難経路整備、訓練等のソフト面での対策の充実が求められている。

【問30】 東日本大震災を経て、今後津波の被害をなくすために行政に期待することは何ですか。〔複数選択可〕

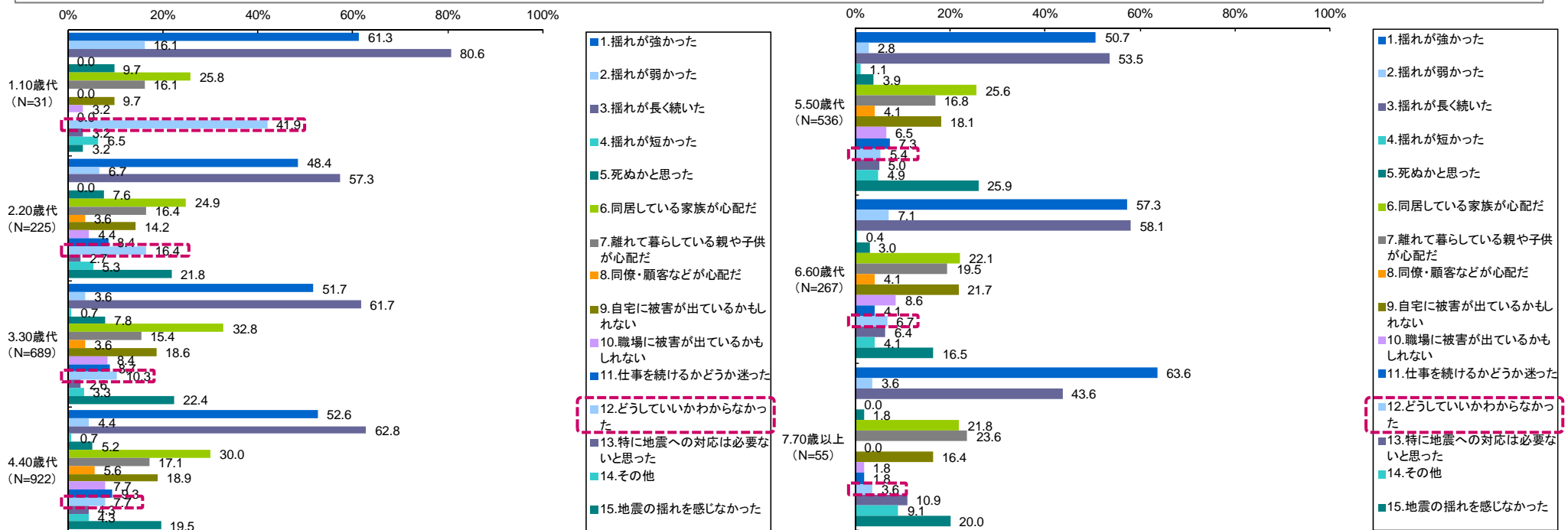


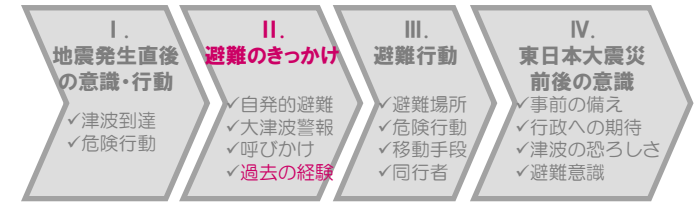


【⑤ 防災教育】

■ 年代が若いほど、地震直後にどうしたらよいかとわからないと答える人の比率が高かった。

【問11】あなたは地震で揺れている間やその直後に、次のようなことを感じましたか。〔複数選択可〕





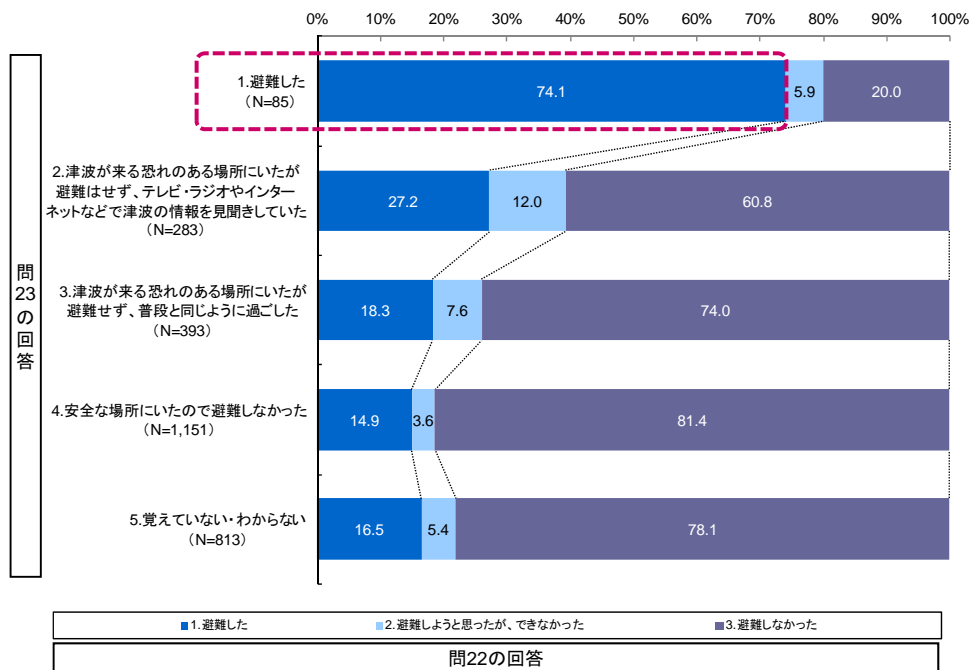
【⑤ 防災教育】

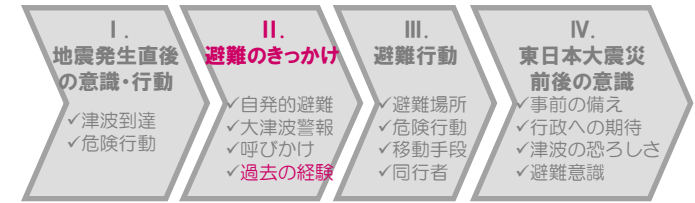
■ 平成22年チリ地震の際に避難した人は、そうでない人に比べて東日本大震災当日の避難率が高く、その割合はおよそ75%であった。

【問23】 平成22年(2010年)2月のチリ地震津波のとき、太平洋沿岸部を中心として広い範囲に津波警報が発表されました。そのときあなたは避難しましたか。

×

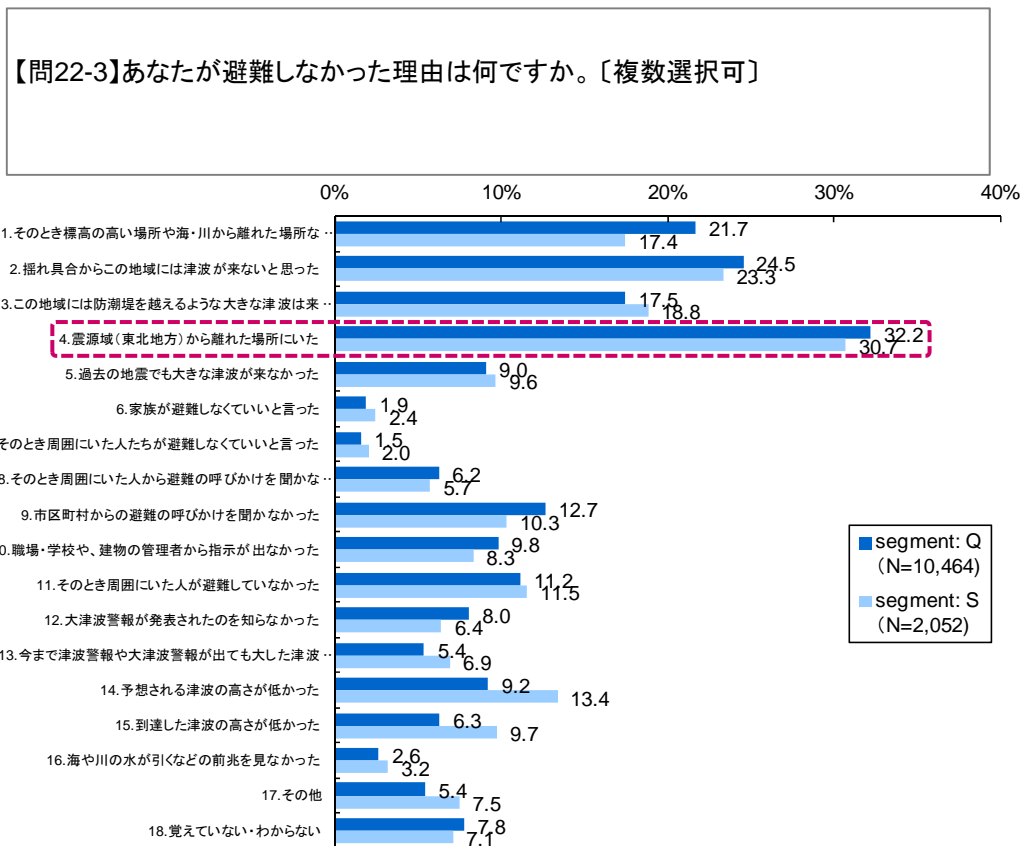
【問22】 あなたは地震当日中に津波から避難しましたか。

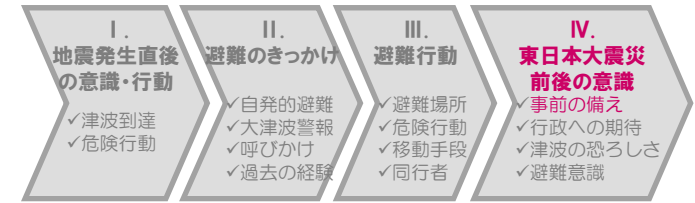




【⑤ 防災教育】

■ 震源域(東北地方)から離れた場所にいたため避難しなかった人は約3割であった。

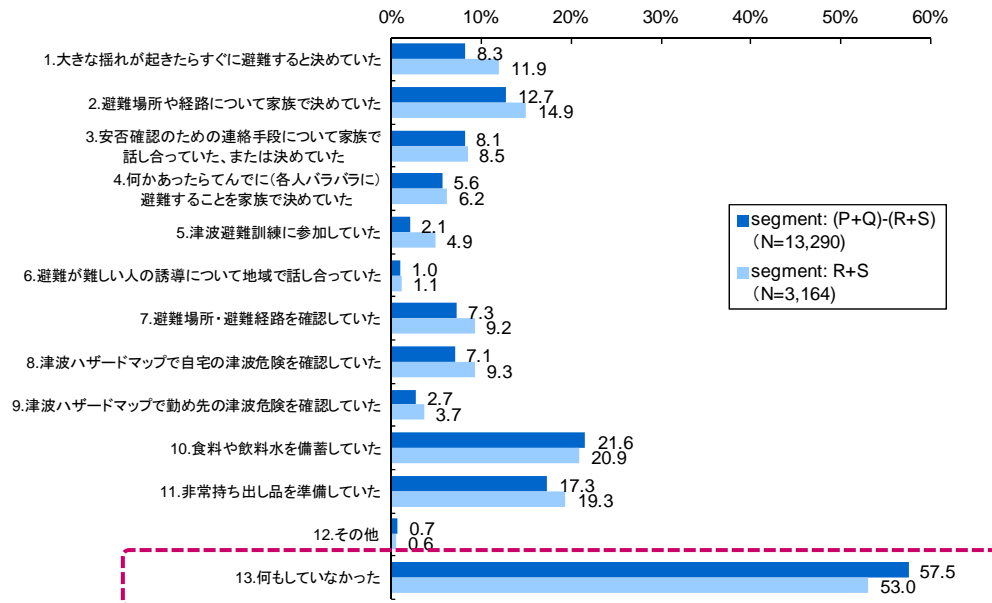


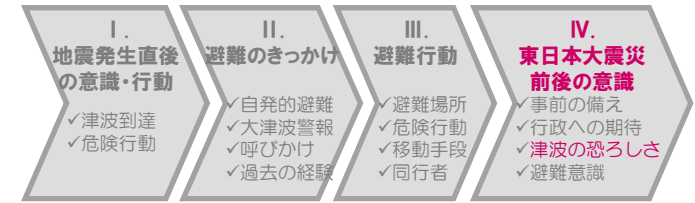


【⑤ 防災教育】

■ 半数以上の方は、東日本大震災以前に津波への備えを何もしていなかった。

【問24】 東日本大震災『以前』に、あなたは津波への備えとしてどのようなことをしていましたか。〔複数選択可〕

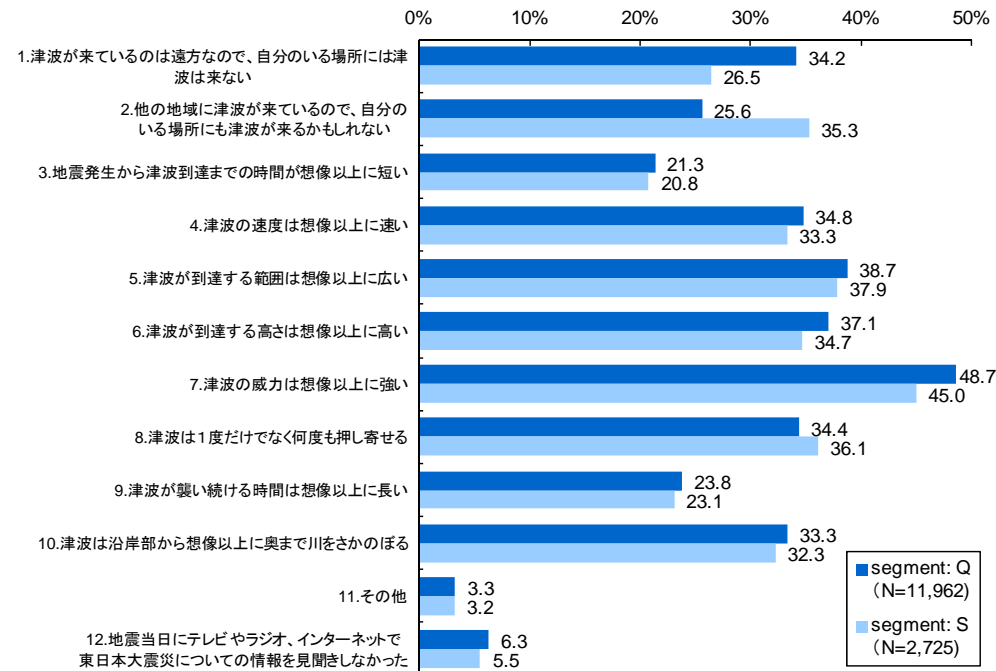


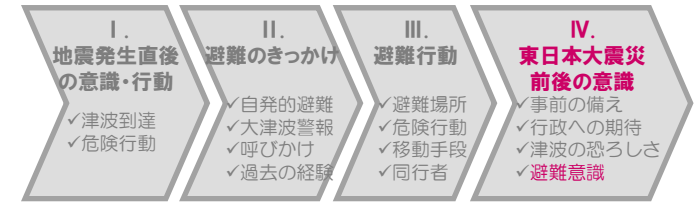


【⑤ 防災教育】

■ 地震当日に、津波の恐ろしさ(到達までの時間の短さ、被害範囲の広さ、津波の高さ、複数回の到達)を感じた人が多い。

【問21】 地震当日にテレビやラジオ、インターネットなどで東日本大震災について見聞きして、あなたは次のようなことを感じましたか。〔複数選択可〕

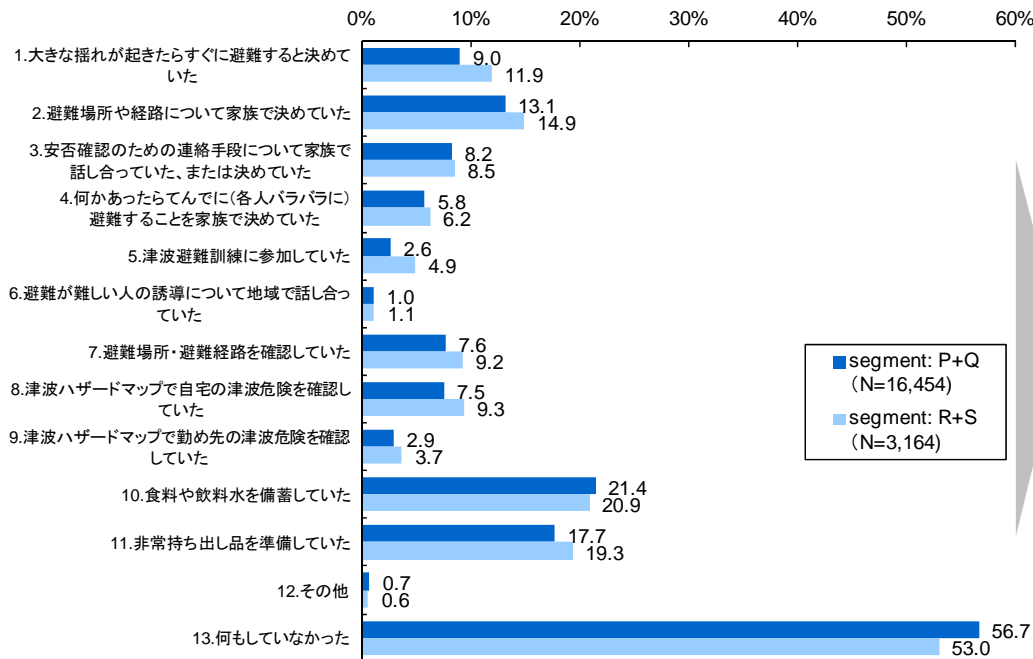




【⑤ 防災教育】

■ 東日本大震災を受けて、津波の恐ろしさや津波への備えに対する意識が高まっている。

【問24】 東日本大震災『以前』に、あなたは津波への備えとしてどのようなことをしていましたか。〔複数選択可〕



【問25】 東日本大震災が発生してから今日までの間に、あなたは今後の津波への備えとしてどのようなことをしていますか。〔複数選択可〕

